

各 都道府県介護保険主管部（局） 御中

厚生労働省老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室

「介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業」や
「介護テクノロジー導入支援事業」等における業務改善に係る効果の報告について（訂正）

介護保険行政の推進については、日頃よりご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和5年度補正予算を活用した「介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業」や地域医療介護総合確保基金を活用した「介護テクノロジー導入支援事業」「ICT導入支援事業」については、各事業の実施要綱により、事業を活用する介護事業所からの業務改善に係る効果の報告を求めることとしています。

効果の報告については、先日「「介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業」や「介護テクノロジー導入支援事業」等における業務改善に係る効果の報告について」（令和7年7月14日事務連絡）において依頼しましたが、不備等があったため、対象事業等を次のとおり改めますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

業務改善に係る効果については、補助を受けた介護事業所へ依頼し、全事業所の報告が完了次第、期限までに当省へご報告いただくようお願いいたします。

なお、例年はExcel ファイルを送付いただく方式であったところ、今年度よりWeb フォームにて報告いただく方式に変更しております。下記に留意事項等を記載しておりますので、管内事業所への依頼にあたってはご留意いただきますようお願いいたします。

【対象事業】

①令和6年度（令和5年度からの繰越分）介護テクノロジー一定着支援事業

（※令和6年度に当省から交付決定した分）

②令和6年度（令和5年度からの繰越分）面的支援によるモデル施設の育成・モデル地域づくり事業

（※令和6年度に当省から交付決定した分）

③令和6年度介護テクノロジー導入支援事業

④令和5年度介護テクノロジー一定着支援事業（令和6年度導入分）

（※令和5年度に当省から交付決定した分のうち、都道府県において令和6年度に執行した分）

⑤令和5年度介護テクノロジー一定着支援事業（令和5年度導入分）

（※令和5年度に当省から交付決定した分のうち、都道府県において令和5年度に執行した分）

⑥令和5年度面的支援によるモデル施設の育成・モデル地域づくり事業

(※令和5年度に当省から交付決定した分)

⑦令和5年度介護ロボット導入支援事業

⑧令和5年度 ICT 導入支援事業

<補足>

※ ①～④は導入1年目の効果報告、⑤～⑧は導入2年目の効果報告となります。

※ 上記以外の事業(「令和6年度(令和5年度からの繰越分)協働化・大規模化等による職場環境改善事業」及び「令和6年度(令和5年度からの繰越分)ケアプランデータ連携による活用促進モデル地域づくり事業」)については別途ご依頼いたします。

【期限】

令和7年8月22日(火)

【報告フォーム(事業所用)】

以下のリンクまたはQRコードを管内事業所へ展開してください。

①リンク：[報告フォーム\(事業所用\)](#)

②QRコード：



【報告状況確認フォーム(都道府県用)】

都道府県毎のURLやログインに必要なID・PWは別途送付いたします。

【報告先】

厚生労働省老健局高齢者支援課介護業務効率化・生産性向上推進室 土本・高橋

メール：kaigoseisansei@mhlw.go.jp

※依頼メールに返信する形でご報告ください。

【留意事項】

- ・報告フォームでは、報告する事業所が交付を受けた補助金の事業名を選択します。選択肢には当省実施要綱における事業名を記載しているため、事業所への依頼にあたっては、事業所がどの事業名を選択すべきかわかるよう補足してください。（都道府県における事業名が異なる場合は、対応する事業名を補足する等）

〈参考：報告フォーム画面抜粋〉

交付を受けた補助金名（複数ある場合は、すべて選択してください。）＊

☐ 令和6年度（令和5年度からの繰越分）介護テクノロジー定着支援事業

☐ 令和6年度（令和5年度からの繰越分）面的支援によるモデル施設の育成・モデル地域づくり事業

☐ 令和6年度介護テクノロジー導入支援事業 ☐ 令和5年度介護テクノロジー定着支援事業（令和6年度導入分）

☐ 令和5年度介護テクノロジー定着支援事業（令和5年度導入分）

☐ 令和5年度面的支援によるモデル施設の育成・モデル地域づくり事業 ☐ 令和5年度介護ロボット導入支援事業

☐ 令和5年度ICT導入支援事業

- ・事業所からの問合せ等に備え、必ず一回以上、報告フォームを使用して報告のテストを実施してください。その際、事業所番号に「0000000000」と記入し、テストデータだとわかるようにしてください。テストデータは集計時に厚労省側で削除します。

〈参考：報告フォーム画面抜粋〉

ア. 基本情報

(1) 事業所番号 ＊

0000000000

(2) 事業所名 ＊

- ・報告フォームでは、条件分岐を設定しており、入力内容によって必要な報告項目のみが表示されます。例えば、「ウ. テクノロジーの導入成果2」については、従業員数「10名以上」の事業所のみに報告を求めるため、「10名未満」を選択した場合、表示されませんのでご注意ください。

- ・各事業所の報告確認作業については、別添の「効果報告作業要領」に沿って、実施してください。

別添

効果報告作業要領

1. ログイン

別途配布する ID・PW を使用し、報告状況確認フォーム（都道府県用）にログインしてください。

2. 報告内容の確認

ログインすると事業所の報告が一覧で表示されます。

「詳細>」をクリックして「詳細情報」を開き、報告内容を確認してください。

なお、画面左の検索フォームで報告の検索や絞り込みができます。

〈画面抜粋：初期表示〉

〈画面抜粋：初期表示⇒詳細情報〉

【確認のポイント】

- ・「ア. 基本情報」（特に「（1）事業所番号」）に誤りはないか。
- ・「イ. テクノロジー導入成果 1」について、明らかに誤りのある数字となっていないか。（例：「（2）1月当たりの超過勤務時間（時間/月）」が1000時間を超える等、明らかに桁数が多い、「（6）離職率（%）」が100%を超えている 等）

3. 報告の修正

「詳細情報」下部の「編集」をクリックすると、報告の上書きができます。必要に応じて報告内容を修正し、確認・回答をクリックして上書きしてください。

〈画面抜粋：初期表示⇒詳細情報⇒編集（報告フォームへ遷移）〉

令和6年度介護テクノロジー導入支援事業等効果報告

交付を受けた補助金名（複数ある場合は、すべて選択してください。）*

☒ 令和6年度（令和5年度からの繰越分）介護テクノロジー定着支援事業

☐ 令和6年度（令和5年度からの繰越分）面的支援によるモデル施設の育成・モデル地域づくり事業

☐ 令和6年度介護テクノロジー導入支援事業 ☐ 令和5年度介護テクノロジー定着支援事業（令和6年度導入分）

☐ 令和5年度介護テクノロジー定着支援事業（令和5年度導入分）

☐ 令和5年度面的支援によるモデル施設の育成・モデル地域づくり事業 ☐ 令和5年度介護ロボット導入支援事業

☐ 令和5年度ICT導入支援事業

ア. 基本情報

(1) 事業所番号*

1111111111

4. 計画番号の記入

~~3.と同様に「編集」をクリックし、報告フォーム画面の最下部にある【都道府県記入欄】に「補助事業所リスト」(※)における補助No.を記載し、報告を修正ください。~~

~~※令和7年3月12日事務連絡において依頼したリストです。~~

~~〈画面抜粋：初期表示⇒詳細情報⇒編集（報告フォームへ遷移）〉~~

(5) 令和6年1月1日時点の職員数（人）*

12

※管理者、介護職員、医療職、事務職、いわゆる介護助手を含む全職員

(6) 離職率（%）

8.33333333333332

※（4）年間の離職者数÷（5）令和6年1月1日現在の職員数×100（自動計算）

【都道府県記入欄】計画番号（「補助事業所リスト」における補助No.を記入してください。）

5. 厚生労働省への報告

対象となる全ての事業所の報告について、1～4の作業が完了したら、厚生労働省へ完了した旨をメールにて報告してください。（※報告先は【報告先】をご参照ください。）